

ASA (朝日新聞販売所) からお届けするお茶の間経済情報紙

預貯金 住宅ローン 年金 保険 株式投資 投資信託 不動産投資

皆様の財産づくりに役立つ情報がいっぱい

次号の発行は9月11日(火)

発行所 株式会社新聞編集センター 2007年
〒103-0016 東京都中央区日本橋 小網町11-10号 南大和ビル7F
TEL03-5614-5331 FAX03-5614-5332
URL http://www.myzaisan.jp E-mail info@myzaisan.jp

私の財産

SA ベッド・ソファ・インテリア家具販売会
●フランスベッド(株) 東京工場PRスタジオ(販売部)
☆8/1日・18日(フランスベッド・ザマーフェスタ!!)
●フランスベッド(株) 東京工場PRスタジオ(販売部)
☆8/25・26日(東京工場大開放セール!!)
●フランスベッド 東京工場PRスタジオ(販売部)
☆8/1・2日(フランスベッド・家具展覧会セール!!)
●お買い得スーパードアリーナ(1F展示場)(お買い得)
☆8/8・9日(フランスベッド・インテリア展!!)
※詳細は本紙の裏か下記Webをご覧ください。
創業90年 家具ネット/総合家具
047-477-1711
http://www.outlet-kagu.com
◎送料・組立・設置・保管システム(無料)
◎来場の際は本紙をご持参ください。

「現役の時は自分の働きのペースを長期投資からみて生活しているわけですが、引退した後はお金の働きが主役。後は年金に頼っていただけ、それがあてにならないとなってきた。そういうことなら、もう年金を足すに足らないので、年金は補完して、個人で稼ぐ必要が出てくる。生活費は、個人で稼ぐ必要が出てくる。生活費は、個人で稼ぐ必要が出てくる。」

長期投資で自分年金づくり

「いったい年金はいくらもらえるの?」「年金を老後の生活のあてにして大丈夫?」という不安が強い。民間の試算によると、現役時代の退職後の収入は、年金、退職金などを合わせて退職前年収の約8割、生活に必要とされる収入額を3割以上も下回る。この埋め合わせは、ギャンブルをやるか、というものがこれからの世代にとっての大きなテーマ。その解決手段の一つが長期投資である。日本にもさわかみ投資やありがとう投資、セゾン投資など長期保有型投資が数々登場しており、個人の「自分年金づくり」に向けて注目を集めている。(田崎)

伝道師、の声を聞く



さわかみ 淳人氏

「ガツガツ」は結局損

「さわかみ君、いいと考える。2007年3月31日現在の物価上昇率を見込んで年々8%程度の物価上昇を想定して、おおよそ12年程度で償還する。この間、おおよそ12年程度で償還する。この間、おおよそ12年程度で償還する。」

「自分の思いを投資に託す。長期投資家は、マイペースとリズムが求められる。それは何か? 堀上氏は次のように語る。『長期の財産づくりは、ガツガツと進めたい。』

I-Oウェルズ・アドバイザーズ
岡本 和久氏
教育通し資産運用支援



「投資家の交流を。こうした長期投資の考え方は、日本に浸透してきて、まだまだ少数派。リズムとマイペースで投資することとは、個人が長く続けることとは、なかなかできない。なぜかというところがある。情報に振り回されてしまうから。そこで、『本格的な長期投資を志す人たちが時々集って話し合うこと』

「一緒に大騒ぎをやっていた。2000年頃の友人、堀上氏の勧めもあり、岡本氏は、個人投資家の資産運用を、教育を通じて支援するI-Oウェルズ・アドバイザーズを2年前に設立した。そして今、フィンペストライフの活動を通じて日本に本当の投資を根付かせたい」と考えた岡本氏は昨年2月に「フィンペストライフ」を共同買収し、自社の事業として取り組んでいる。

「ガツガツ」は結局損。さわかみ君、いいと考える。2007年3月31日現在の物価上昇率を見込んで年々8%程度の物価上昇を想定して、おおよそ12年程度で償還する。この間、おおよそ12年程度で償還する。この間、おおよそ12年程度で償還する。」

COVER NEWS
投信ニューフェイス...3面
いゲタカ、って何?...3面
点検! 教育費...5面

北海道の廃校でセミナー

〈市面から続く〉

岡本氏は、長期投資の交際の場として毎月でのセミナー開催、会報誌「インベストライフ」の発行、サロン活動の支援を行う。セミナーの講師や会報誌への執筆などに労を惜しまないのが村上氏をはじめ、ありがとう投資社長の村山甲三郎氏、千葉商科大学大学院教授で「インベストライフ」編集主任の伊藤安一氏など長期投資を信託とする面々、彼らは手井並で、全国各地でセミナーが開かれれば行つて講演をし、会報誌に執筆するといふ。長期投資の伝道師たち、なのである。

▼長期投資で町おこし
8月7日、北海道・美幌の隣町、人口78人の儀

真布町で開校されたセミナーは廃校の元体育館が会場となった。村上、村山、岡本の3氏が講師を務め札幌、旭川、釧路など北海道や東京から町の人口とほぼ同数の人が参加。午後3時からと、夕方8時からのもにわたって長期投資の勉強会をした。セミナー終了後、地元の人たちが大層にめでたくれたアスパラを食

べ、おいしい水を飲みながら懇親会。長期投資は町おこしでもある。岡本氏は言う。「企業はリストアップでコストカットばかりやってきた。カットできないものは売るか捨てるか。これでは「ハゲタカさん、いらっしやい」と言っているようなもの」。民間企業が白らのポテンシャルを生

かすといふ意識ができていない中で、地方では車の価格低下が始まった。インベストライフの東京セミナーで藤沢久美さんが行った基調講演に、

地元にあるものを生かす発想の大切さ、を表現する興味深い話があったと岡本氏。「長野県の小川町は少子化と若者の離脱で、近い将来子どもがいなくなる。そこで、自分たちの宝物を探したところおばあちゃんがい

た。おばあちゃんに信州の郷土産であるおやきを作ってもらい頒布出したところ大人気だ。その「小川の庄」という会社は年取位賃金をあげるまでになり、労働条件のよい会社といふ評判から都金に出ている若い人たちが戻って来たのです」。

中野晴啓セゾン投信社長(左)を激励する林野宏クレディセゾン社長



セゾン投信 中野晴啓氏

若い世代の注目度実感

た。おばあちゃんに信州の郷土産であるおやきを作ってもらい頒布出したところ大人気だ。その「小川の庄」という会社は年取位賃金をあげるまでになり、労働条件のよい会社といふ評判から都金に出ている若い人たちが戻って来たのです」。

個人の長期投資のすそ野が拡大していることを示したのがセゾン投信。3月15日に設定した「セゾン・パンガード・クロール・バルバンスファンド」「セゾン・海外形成の達人ファンド」を合わせ大口座数は4カ月で上方

口座を突破、運用資産総額も6億円(7月25日現在)と毎月着実に積み上がってきている。米大手投信のパナカード関係者も驚いたという。口座開設

を結成、共同でセミナーを開くなどお互いに協力し合っている。中野氏が直販にこだわっているのは、かつて藤上氏を訪ねた時に悩んでいたこと。「投資の運用会社と——」投資の運用会社はこういう運用をした方がいい、という思いが最初にあつてそれを基に投資を作つて販売会社に売つてもうと、いろいろが自然。しかし、実は販売会社があつていろいろの弊害が起きている。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙。「地盤変動が起きているのは、投資業界に準入している。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙。「地盤変動が起きているのは、投資業界に準入している。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙」。

▼直販へのこだわり
個人の長期投資のすそ野が拡大していることを示したのがセゾン投信。3月15日に設定した「セゾン・パンガード・クロール・バルバンスファンド」「セゾン・海外形成の達人ファンド」を合わせ大口座数は4カ月で上方口座を突破、運用資産総額も6億円(7月25日現在)と毎月着実に積み上がってきている。米大手投信のパナカード関係者も驚いたという。口座開設

を結成、共同でセミナーを開くなどお互いに協力し合っている。中野氏が直販にこだわっているのは、かつて藤上氏を訪ねた時に悩んでいたこと。「投資の運用会社と——」投資の運用会社はこういう運用をした方がいい、という思いが最初にあつてそれを基に投資を作つて販売会社に売つてもうと、いろいろが自然。しかし、実は販売会社があつていろいろの弊害が起きている。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙。「地盤変動が起きているのは、投資業界に準入している。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙」。

を結成、共同でセミナーを開くなどお互いに協力し合っている。中野氏が直販にこだわっているのは、かつて藤上氏を訪ねた時に悩んでいたこと。「投資の運用会社と——」投資の運用会社はこういう運用をした方がいい、という思いが最初にあつてそれを基に投資を作つて販売会社に売つてもうと、いろいろが自然。しかし、実は販売会社があつていろいろの弊害が起きている。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙。「地盤変動が起きているのは、投資業界に準入している。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙」。

を結成、共同でセミナーを開くなどお互いに協力し合っている。中野氏が直販にこだわっているのは、かつて藤上氏を訪ねた時に悩んでいたこと。「投資の運用会社と——」投資の運用会社はこういう運用をした方がいい、という思いが最初にあつてそれを基に投資を作つて販売会社に売つてもうと、いろいろが自然。しかし、実は販売会社があつていろいろの弊害が起きている。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙。「地盤変動が起きているのは、投資業界に準入している。セゾンなどで一般消費者に接している経験から余の弊害が大きく変わる、と手紙」。

長期運用ではおなじみ、おこたわり「さわやか投資」は休みました。